

透明高導電コーティング剤

## デナトロン PT-455

### ○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 高透明で低抵抗
- 各種基材への密着性が良好

### ○ 用途例 ○

- タッチセンサー
- EMI/ESD シールド
- 透明電極



### ○ 液物性 ○

	PT-455-A	PT-455-B
外観	濃青色	乳白色
主な成分	導電材	導電性向上剤 バインダー樹脂
主な溶剤	水	水・アルコール
pH	2~3	5~7
粘度	10~50 mPa・s	2~30 mPa・s
貯蔵安定性 (1~10℃)	6 か月以上	6 か月以上

混合  
>>

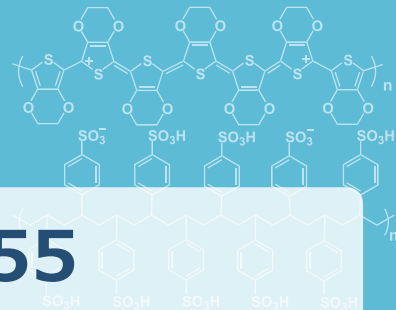
PT-455
混合比率 (wt%) A 液 : B 液 = 8 : 2
pH = 2~3
固形分 2.5wt%
フロアライフ 1 週間

### ○ 膜物性 ○

	配合比率 (wt%)		塗布量 (cc/m <sup>2</sup> )	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 <sup>※</sup> (%)
	A	B			
塗工例 1	80	20	4	550	89
塗工例 2	80	20	12	180	85
塗工例 3	80	20	22	100	81

\* 全光線透過率 : フィルム基材値込み PET FILM (全光線透過率 : 90%, Haze : 0.9%)

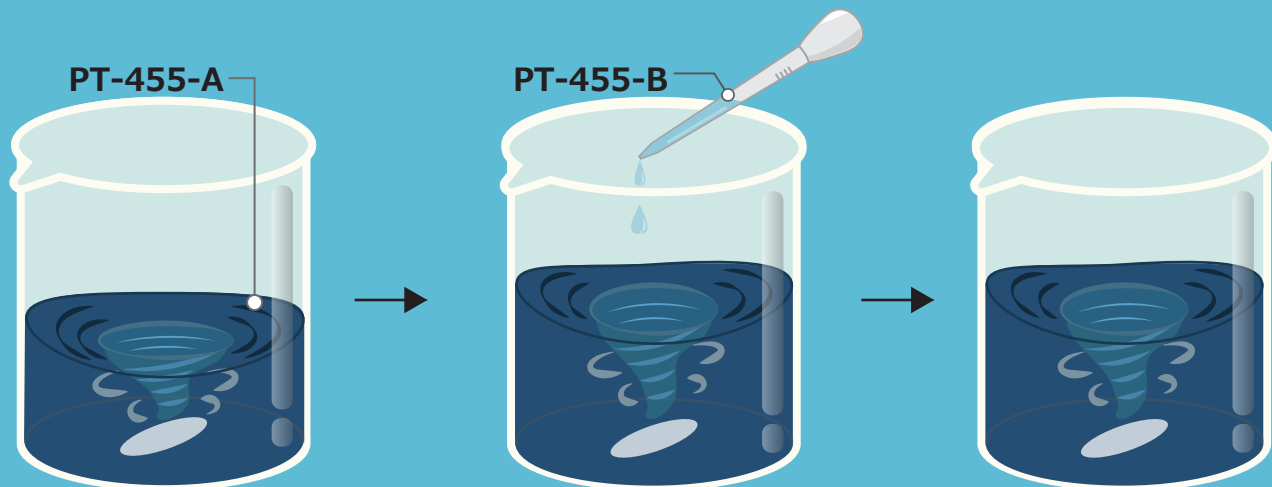
ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご理解をお願いいたします。  
また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明高導電コーティング剤

## デナトロン PT-455

### 液の作製方法



- 1 PT-455-Aを準備し、攪拌を開始します。
- 2 攪拌しながら PT-455-B をゆっくり添加してください。
- 3 5分ほど攪拌して完成です。

### 塗膜の作製方法

- 1 ワイヤバー、スプレー、スピン、グラビア、スリット、ディップなど汎用的なコーター装置を用いて塗布してください。  
推奨基材はプラスチックフィルム (PET, PMMA, TAC, PC など) やガラスです。
- 2 80~130℃にて2~5分程度乾燥してください。  
※乾燥オープンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ない場合があります。  
その場合は乾燥温度や時間などを上げて、表面のタック性が無くなるまで乾燥してください。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報に基づいた参考値・代表値となっております。品質を保證するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際は SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。